

川越市主要駅周辺帰宅困難者対策協議会の概要・取組状況等

1 概要

- ◆ 活動エリア : 川越駅、本川越駅周辺
- ◆ 会長 : 東武鉄道東武川越駅管区長
- ◆ 会員数 : 18人

| 駅 | 事業者 | 行政 | その他 |
|----|-----|----|-----|
| 3人 | 10人 | 5人 | 0人 |

◆ 乗降客数

本川越駅 47,349人/日 (西武鉄道/2022年度)
川越駅 116,896人/日 (東武鉄道,2023年度上半期)
33,846人/日 (JR/2022年度)

◆ 地域の特徴

通勤通学者や国内外からの観光客が多く、また、商業施設が駅周辺に密集していることから、災害時には多数の帰宅困難者が発生すると考えられる。

2 今年度の活動内容

- ◆ 会議の開催回数: 3回程度
- ◆ 誘導マニュアル等の策定の有無、内容
一時滞在施設運営マニュアル、一時滞在施設マップ、商業施設における帰宅困難者対策のガイドラインの作成
- ◆ 備蓄状況
カロリーメイト、保存水、サバイバルシート、アルミマット、簡易トイレ、IP無線機、非常用発電機、スマホ充電器、投光器、延長コード、ポケットークほか

3 今年度の訓練内容

- ◆ 訓練実施日 : 令和6年2月14日(水)
- ◆ 実施場所 : 川越駅、本川越駅及び一時滞在施設
- ◆ 参加者: 協議会構成員、市職員、市民 他

◆ 訓練項目・概要

利用者保護訓練、避難誘導訓練、一時滞在施設開設訓練、情報収集・伝達訓練、避難行動要支援者(障害者、外国人観光客)の保護訓練、応急手当訓練ほか